



みんながチャレンジ 明日に向かって 本気でGO!

# 本郷の輝き

横浜市立本郷小学校  
学校学年便り11月号  
令和5年10月31日

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongo/>



## 十人十色の秋模様

副校長 武士 雅子

秋の日はつるべ落としと言いますが、最近はずっかり日没も早くなり、秋も深まってきました。自然の美しさや風雅な趣を楽しむことを「花鳥風月」といいます。この言葉のとおり、月は古くから美しいものとして日本では親しまれてきました。月と秋について平安時代の歌人大江千里（おおえのちさと）が詠んだ短歌を一首紹介します。

月みれば ちちにもこそ 悲しけれ

わが身一つの 秋にはあらねど

（訳：月を見ると、あれこれきりもなく物事が悲しく思われる。私一人だけに訪れた秋というわけではないのだけど）

月には「満月」や「うさぎが住んでいる」などの明るいイメージを感じることも多いのですが、美しい月と秋が重なることで、秋にしみじみとしたさびしさを千里は感じたようです。夜、澄んだ空気とそこに光り輝く月、秋の虫たちの音色…。その情景に、美しいながらも、何とも言えない秋の切なさを感じるのは、令和に生きる私たちも同じなのかもしれません。

一方、同じ秋でも「食欲の秋」という言葉もあります。こちらの秋は、幸せいっぱいな秋を感じます。「芸術の秋」だと色とりどりで深みを感じる秋といったところでしょうか。同じ秋でも、一人ひとりにとって「〇〇の」の言葉は変わってきます。みなさんは秋に何を感じますか。

後期始業式の際、続けて頑張る目標を持つとうという話をしました。私自身はたくさんの本を読みたいという目標を立てました。10月27日から11月9日は「読書週間」ということもあり、その一歩として、「読書の秋」をテーマにこの秋を過ごしてみようと思います。お子さんたちはこの11月、どんな秋を過ごすでしょうか？秋の夜長に、月を愛でながら親子で話してみるのもいいですね。本郷小の子どもたちにとって、秋が実り多い豊かで幸せいっぱいなものになることを願っています。